

健康教育

題字 薬学博士 河合 龜太郎

本誌の主張

1. 教育の基調は健康にある
2. 栄養に関する正しい知識を普及する
3. 食生活の改善により国民体位の向上をはかる

★水泳場の衛生.....	2
★学校薬剤師の在り方について.....	4
肝油服用の思い出.....	6
質問に答える.....	7



No.15

自然に親しむ 千葉県天津小学校の子ども



水泳場の衛生

水泳には危険が伴うので、細心の注意と指導が大切なことは常識となっている。しかし衛生上から、水泳場の選定管理をどうしなければならないかということが案外なおざりにされているのではなかろうか。

国立公衆衛生院 元 山 正

夏の衛生ということになると、水泳の問題も忘れることができないことであろう。暑くなると子供たちは水にあこがれ、川に海にあるいはプールへと泳ぎに行くことが多い。子供たちの希望というか、その要求を満たすということからも必要かもしれないが、また健康の上からも水泳を行なうということは望ましいことである。

それでは水泳を行なうことは健康上望ましいといっても、どんな所でも泳いでよいのであろうか、最近では都市に近い海水、河川の汚れ方は非常に多くなっている。汚れてきたない水の中で泳ぐということは、逆に健康上よくない結果を招くことになってしまう。そういう点から水泳場の衛生ということについて考えてみたいと思う。

まず海水浴場であるが、臨海学校とかその他多くの機会に海水浴場に行くことが多いことと思う。海水は自浄作用があり、少しぐらいの汚染であるならば、すぐにきれいになるので、海水浴場は細菌学的にも比較的きれいな所とされている。事実東京付近でも房総半島の端の方は海水 10,000 cc 中大腸菌群 2~300 以下という成績を示している。ところが最近では都市の汚水の流入をはじめ、尿尿を海に投入するために、海水の汚染が著しく、海水浴場水も非常によごれてきている。そのため厚生省では通牒により「海水検査の成績については、さし当りおおむね次の標準によって指導すること。大腸菌群 MPN ※について、1 萬以下を標準とすること。1 萬から 5 萬までは止むを得ないものとすること。5 萬以上は遊泳せざることを適当とすること」となっている。

この線により海水 100 cc 中大腸菌群 5 萬以下ならば海水浴場として利用できるわけであるが、これは余り

にも海水の汚染がひどいための、やむを得ない措置であって、これ以内ならば衛生的に問題はないという線ではない。この範囲にしても、東京湾内の海水浴場で、かろうじて合格するという程度のものが多いことは、ほめられた状態ではないようである。米国の標準は大腸菌の検出率により次のような四段階にわけており、1,000 以上のものは遊泳禁止とされている。

階 級	100 cc 中 の 大 腸 菌 数
A	0 ~ 50
B	51 ~ 500
C	501 ~ 1,000
D	1,000 ~ 以上

この標準からみても、1 萬以下であるからといって安心できない状態といえるであろう。しかし一応の線が出ているのであるから、この点は別として、われわれの心掛けることは河川の流入する付近の遊泳は避けるようにしたい。海水浴場で調査をすると、街の中を流れて来ている川が流れ込んでいる付近が一番細菌汚染のひどいことがわかっている。そういう点から、このような場所をさけて遊泳場所を定めるようにしたいものである。

次に河川の遊泳場について考えてみよう。例えば東京であるならば、荒川とか多摩川には多くの水泳場が開かれていたが、現在ではその流域に多くの工場が建設され、その廃水が流れ込んでいるために、泥水となってしまう水泳場どころではなくなっている。この状態は東京だけではなく、各地の都市でみられるところである。このため都市付近の河川での遊泳は余り望ましいとはいえない状態といってよいであろう。一方農村における河川は、そのような汚染は少ないかもしれないが、農薬による汚染のおそれが問題となっている。

すでに農薬の流れ込んでいるのを知らずに泳いで死亡した例もあり、今後もその危険性のあることを考えておかなくてはならないと思う。

次にプールでの遊泳であるが、これは最近各地にプールが設置されるようになり、問題が多くなっている。プールは限られた量の水の中で多数の人が泳ぐために、汚染はひどく、また海水のような自浄作用を望むことができない。そのためプール水をきれいに保ち、細菌学的にも清浄な状態にするということはなかなか困難な問題であり、また必ず行なわなければならないことである。プール水によって起きる病気として、米国であげている例を第一表に示してみよう。

第 1 表 プール水により発生する疾患

感 染 部	種 類	患 者 数
眼	6	169
耳	5	191
鼻	6	149
のど	5	33
皮膚	11	141
性病	2	42
胃腸関係	3	26
その他	2	8

プールによる病気の感染は、プール性結膜炎という名称でよばれていた眼炎が多かったが、ここ数年アデノウイルスによる流行性角膜炎が発生し問題となっている。第二表に大垣市での発生状況を、同市学校薬剤師会の報告から引用してみよう。

第 2 表 アデノウイルス型患者発生数 (1957)

学 校 別	児 童 生 徒			家 族	
	小中学校 人 員	患者数	%	患者数	家族/生徒 %
A 小 学 校	1,669	349	20.9	153	43.8
B	1,837	203	11.0	103	50.7
その他 9 小学校	7,465	142	1.8	50	35.1
A 中 学 校	930	104	11.2	60	57.7
その他 10 中学校	4,320	81	1.9	19	23.4
合 計	16,203	879	5.3	385	43.8

これからわかるように、A・B 地区に多発し、他の地区には非常に発生が少ないことがわかり、学校プールが感染源であったようである。

このような疾患の感染源となるプール水はどのように管理したらよいであろうか。プール水を最もよく管理できるのは循環式プールとよばれているが、常にプール水を少しずつポンプで引いて、これを濾過し、更

に塩素消毒を行なって再びプールに送り込むという方式である。この方法の優れていることはよく知られているが、設備に費用がかかるために、わが国ではあまり数がない。しかし、ここ 2,3 年の間に学校プールにこの設備を行なっている所が数をましてきていることは喜ばしいことである。残りのほとんどは入換え式とよんでいるが、3~4日間同じ水で泳ぎ、よごれたところで全部水を入れ換えるという方式である。米国ではこの方法は望ましくないとしているが、わが国ではそうはいえない状態である。

しかしこの方式であっても維持管理を完全に行なえば問題はない。まず水の汚染を除くためには入泳者を予めよく洗うことである。シャワーとか腰洗い装置によって完全に洗ってからプールに入れるようにすると、プール水の汚れ方は非常に違ってくる。このことは学校プールでは割合行ない易いことなのでぜひ実行してもらいたい。筆者の経験では昼の間は学童が入るのできれいだったものが、翌朝行ってみると余りにもよごれているので驚いたことがある。この学校では夜間は周囲の人々にプールを開放しているため、このような結果を示したものである。事実入泳前の管理をよくしているプールで一週間目でもまだ水がきれいな学校の例もみている。

次にプールの消毒であるが、現在のところ塩素化合物、特に高度晒粉による消毒が広く行なわれている。現在われわれはプール水は常に 0.4ppm 以上の塩素を含むように指導しているが、これはなかなか難しい問題である。大体天気の良い日には10分間で 0.4ppm の塩素が減少するとされているが、これから考えても一時間に一回位ずつ晒粉上澄液を加えなければ、0.4 ppm を保つことは困難であろう。最近大垣市学校薬剤師会で連続塩素投入装置を考案されたが、この方法によれば設備費用も安く、消毒効果もよいようである。

ともあれ、0.4ppm 以上の塩素を保つならば、プールによる疾病の発生はまず防ぐことができるわけで、先にあげたアデノウイルスによる眼炎も翌年からプール管理に力を注ぎ、その発生を防ぐことができている。夏の暑いときに面倒なこととは思いますが、学童の衛生という点から、プールの消毒だけはぜひ完全に行なってもらいたいと考える。

※ MPN……大腸菌を数える一方法で最確数と訳されている。

学校薬剤師の在り方について

東京神田小学校の学校薬剤師

久保正憲氏に聞く



栗原校長



神田小学校の保健活動は、つとにその名は高い。今春は統計教育の研究校として、大正13年から保存されている全データーを基礎として、『健康教育の事例研究』を発表され、科学性、合理性を基調とし、全校一体となつての研究実績には目を見はるものがある。

清水 学校保健法で学校薬剤師設置が来年から本格的に実施されるわけですが、学校の先生方、PTA、一般の方々に、それが非常に大切な職責であることが、まだよく判っていないようです。

久保先生には、法制化前すでに20年近くこの仕事をなさつての権威でいらっしゃいますので、これから学校薬剤師になれる方、学校の先生方、PTA、一般の方々に、その貴重なご体験ご高見をお伺いしたいと思います。

久保 学校薬剤師法が通ったとき、即時実行してもらいたいと考えていたのですが、いろいろな事情から3年間の猶予期間がおかれたのですが、あと1年足らずとなった今日、まだ1万にも満たない状態です。何とかして完全設置を達成したいものと思っていますが――

清水 現在の位でしょうか。

久保 まだハッキリしませんが約1万位でしょうか。薬剤師の数が5万数千、学校数が5万以上ですから、兼務を考えても容易なことではないと思いますが、日本薬剤師協会及び学校薬剤師会では、たびたび講習会を開いたり、教育委員会や地区の有力者にPRして、必置の問題に対するご理解をいただくよう強力に推進しております。

東京都下では三多摩地区に重点的な力を注いでいます。

先般の学校災害防止法、薬事法改正等の委員会で、最近農薬の被害その他が議題となり、この防止について農薬の管理方法に関連して学校薬剤師の立場を強調され、各方面に認識

を深めていただく好結果を得たようです。

学校薬剤師の執務については、文部省の基準に拠り、日本薬剤師協会で年中行事予定表を作製し、それを各地区の学校薬剤師に流し、その地区に適應したプランを立てて実施することになっています。

学校薬剤師各月執務予定表

月	執 務 事 項
4	①医薬品（名簿の整理、貯法の検査） ②毒物・劇薬並びに発火性物質等の保管状況 ③学校保健委員会 ④駆虫剤・栄養剤・救急薬の調査
5	①医薬品（品質の検査、急救薬品の整理と補充） ②衛生材料及び用具（品質、保管状況） ③雑草及び毒草その他の指導 ④修学旅行、遠足 ⑤鼠族、衛生害虫の駆除
6	①給食用の食品並びに給食用器具の衛生検査 ②飲料水及び用水の検査 ③換気及び採光 ④有機燐製剤による被害防止
7	①学校プールの検水及び消毒 ②救急薬及び衛生材料の検査 ③夏期施設の保健調査 ④学校保健委員会
8	①学校プールの検水及び消毒 ②防虫及び排水（防はい金網、ごみ箱のふた、殺虫剤、下水明渠等に注意） ③鼠族及び衛生害虫の駆除
9	①医薬品（名簿、貯法、品質の検査） ②飲料水及び用水 ③毒物及び劇物の検査 ④毒草及び毒茸の啓蒙指導 ⑤学校保健委員会
10	①衛生材料及び用具の検査 ②教室の採光、照明、換気及び騒音等の検査 ③運動会及び校外指導
11	①駆虫剤、栄養剤の調査 ②暖房設備（火鉢、ストーブの位置及び煙突の通否等） ③薬事衛生講話（くすりと健康の週間実施） ④鼠族及び衛生害虫の駆除
12	①暖房と環境衛生検査 ②医薬品の整備 ③学校保健委員会
1	①空気検査 ②毒物及び劇物の検査 ③学校保健委員会
2	①空気検査 ②衛生材料及び用具の検査 ③鼠族の駆除
3	①医薬品の整備及び検査 ②便所、ごみ箱及びたんづの清潔と整備（構造及び周囲の状況） ③手洗い設備の調査

以上の他、地区の状況により適応の処置をとる。

神田小学校の実情では、先生方とPTAの理解があり、区長さんもお熱心であり、教育委員会も保健所も熱心に協力して下さるついでいろいろな面で実績があがっている。

例えば

1. プール管理検査成績はいつも満点、神田地区全体の成績もほとんど90点以上である。消毒薬の晒粉等は当局から十分に支給されている結果ともいえる。
2. 環境衛生の状態が非常によいのは、水洗便所であること、校庭並びに道路が舗装されていて近くに田畑がないためと



給食調理室

思われる。

3. 寄生虫卵は昨秋の検査で、幼稚園は2%、小学校は4%という全国にその例を見ない成績である。
4. 照度検査の結果進言によりほとんど蛍光灯にとり換えた。
5. 空気の検査では、10数年前から器械を購入してもらって行なうことができた。
6. 手洗いを徹底的に行なっているが、石鹸などは父兄からの寄贈でまかなわれている。
7. 給食室は昨年度改装され、設備も非常によく整備された。エレベーター式の配給セットも完備されている。
8. 保健委員会は、先生方、児童、PTA、医師担当で組織され、月例会のほか、問題の性質によって参加者もきめ



エレベーター式
配給セット



かわいい給食係の活動

るようにしている。

清水 大変よいお話を伺い、学校薬剤師のお仕事が身近なことであり、ひいては学校教育全般に重大な影響があることがよく判りました。昨年文部大臣賞をお受けになった先生のご功績もむべなるかなの感を深くしました。

最後に、長いご経験から、学校薬剤師になられる方にも、先生方にもお伝えしたいことがございましたら――

久保 学校薬剤師の職務は、極めて地味で、しかもいろいろな犠牲を伴います。

可児先生（日本学校薬剤師会々長）がよく申されますが、時間的に余裕をもち得る方、経済的に協力できる方、政治的に活動できる方、技術的に有能な方、体力的に堪え得る方々に進んでなっただけ、各々の特徴を発揮して新制度を有意義なものとしてもらいたいものです。

実務も、経費のかからない、その学校に適したことから順次実行に移していくことですね。

先生のお話は微に入り細にわたって尽きない。紙面の都合でその要点だけしか載せ得ないことをお詫びするとともに、久保先生が、学校保健の普及と向上の功労者として文部大臣賞の光栄に浴されたことは前記の通りであるが、東京都知事、千代田

区長、東京都学校保健会等からも再三再四表彰されていることを付記して、この編集にお寄せいただいたご好意を感謝します。

ちょうど国立公衆衛生院と地区の学校薬剤師の方々が、環境衛生検査を実施中であつたが、このような学校で学ぶ子どもたちの幸福を思いながら校門を出た。（文責 大倉）

原稿募集

本誌をよりよいものにするために、みな様方のご協力をお願いします。

1. 『スポーツと保健』に関する研究調査や意見、随想その他
2. 締切り 8月20日
3. 四百字原稿紙6枚内外
4. 掲載のものには薄謝を差し上げます。

※6ページからつづく

人間の幸福が、健康にあることはいうまでもない。従って人間の基本的な要求を教育の根幹に求めるべきであろう。生命の尊さに徹し、自分の命の尊さがわかれば、人の命の尊さもわかるはずである。

真剣に命あつての物種教育を考えて実践して行きたいと思っている。

肝油服用の思い出

福山市立南小学校長

豊原 照



私は師範学校在学中運動の選手であったので、健康には自信をもっていた。かぜにはよく罹っていたが、そんなことは大して気にしていなかった。従って暴飲、暴食、不摂生の限りをしたのではなかったかと思っている。特に運動選手には、私たちの時代こんな考えのものがかなり多かったのではないかと思う。師範学校を卒業

し、1年現役兵も無事終えた私には、健康への自信を更に高めていたと思う。運動選手など最も節制の必要があるのに、自信過剰から、こんな考えが強かったのではなからうか。

★ 健康の自信喪失

憧れの教壇に立った私に大きなショックを与えたのは、2年目である。教育生活の2年を終わろうとする3月の初め、かぜに罹った。よくかぜをひいて休んでいた私は、別にたいした事はないと、売薬をのんで、学年末の忙がしきで毎日出勤した。なに気力でと思って頑張っていたが、3月20日とうとう職員室で倒れてしまった。熱は39.5度という高熱であった。家に帰ったそれなり、起きることもできなくなった。子どものことを心配しながら病床に呻吟する身となった。病気は意外に永く、50数日かかった。最後には、微熱が続いて、両親に心配をかけた。特に肺結核ではないかと、両親は心ひそかに思っ、いろいろ手を尽くしてくれたことを思う。

5月半ばやっと床をあげることができるようになったが、これで私の健康への自信は全く喪失された。自分の体に自信を失った位みじめな気持はない。行動が消極的になってきた。この行動に一番心配してくれたのは父であった。何とかして励まそうと、いろいろ激励してくれたことは、今でも強い思い出として残っている。父には心から感謝している。

★ 肝油を飲む動機

心配してくれた父が、何とかして、私の体質改善をと考え、医師に相談したのが肝油の服用である。早速肝油を求めて服用を奨めた。父の気持ちはよくわかるので服用した。その当時の肝油は角瓶に入った油状のもので、極めて飲みにくいものであった。母が毎朝食卓に出してくれるが、飲むのに一苦労した。番茶に浮かせて飲んだり、味噌汁に浮かせて飲んだものである。飲むには飲んだが、後が悪い。昼前になると、魚の腐ったような臭いのゲップが出てくるのには弱った。

こんな状態が3・4カ月続いた。がまんしている中に馴れてきて後には、番茶や味噌汁の助けを借りずとも、直ちに口飲みができるようになった。こうして私の肝油の服用は続い

た。9カ年余りも服用した。後には経済的な理由で止めたが、父の気持ちや母の心遣いを今でも感謝している。

★ 肝油を服用しての体調

肝油を9カ年も服用して、私自身が直接に体の調子がどうなったかを知ったのは、次の二つである。

(1) しもやけに罹るのが軽度ですむようになったことである。

私は、元来皮膚が弱い、10月の終わりにはもうしもやけに罹るのである。足から、手からと、かなりひどいしもやけにかかっていた。これには全く困って、いろいろ手当をしていたが、なかなか治り難いものであった。肝油の服用を始めてから2年目の秋には、しもやけが軽度で済んだ、始めはそれと気がつかなかったが、年々軽症になっていくのに驚いて、一応肝油の効果だと思った。

(2) かぜが軽くてすむようになった。

私は毎年よくかぜをひいて休んでいたものだ。毎年1週間位の欠勤があったのが、かぜをひいても軽くて欠勤するまでにいかぬようになった。本年20数年30年近く、一度も欠勤したことがない。肝油服用だけの効果でないかも分らぬが、結果的にそう思っている。

こんなことで、私は私の健康について、別の自信を得たことは事実である。学生時代の自信とは異った、健康についての信念を得た。

★ 命あつての物種教育

私は、私の健康から、新しい健康観を得た。そして、その健康観は、教育への一つの信念ともなってきた。健康教育を提唱したのも、こんなことが動機となった。教育の中で「命を大切にす、命あつての物種教育、を唱えてきた。

日本人の人命軽視の風潮はなげかわしいと思う。自分の命を大切に、そのことから人の命の大切さを知ることが大事である。特に私は、幼い生命を多くあずかっている。このことを身にしみて考える。新聞紙上に幾多の悲惨事が報告されるたびに、身につまされる思いである。事件が起きるたびに、世間では、責任論を繰り返し、処罰だ、引責だと騒ぐが、問題は、責任の所在をはっきりさせ、責任者を処罰するだけで、ことが終わるものではない。多くの生命をあずかるものの、根本的な心構えに何か欠けているものがあるように思う。人命軽視の考えがその底に流れているとすれば、それ自体を払拭することが、教育の問題ではなからうか。(5ページへ)※

☆ 牛乳に対する光の影響

多くの食品は光によって悪い影響をうけるが、牛乳の場合はそれが特にはなはだしい。これは、まずアスコルビン酸の酸化が光によって促進され、その結果リボフラビンやビタミンAが破壊されて、酸化臭が発生してくるためだと思われる。多くの要因——牛乳のタイプ、照射時間、照射の温度、光源の種類など——がその酸敗の程度に影響を及ぼす。

実験の結果から、褐色ビン、アルミ箔つきカルトンの方が透明ビンより遅い。

スキムミルクの方が全乳の場合よりいちじるしい。

ビタミンAの損失は透明ビンの場合のみ起こる。

「食品工業」1959、4月号から

☆ 米の大食は短命

戦後日本でのびたのは女権と寿命という話がある。しかし人口に対する長寿者（70才以上）の比率は、日本2.7、フランス7.2、イギリス6.6、ノルウェー6.2などの半分以下である。

過去20年間全国の長寿村や短命村500余を踏査した近藤正二東北大名誉教授にいわせると「その地方の食習慣が寿命と関係がある」そうだ。

結論からいうと米の大食は短命で、小魚や大豆、野菜海草などをよく食べる村は全国的に見ても長寿者が多いということだ。米食には塩の過食となり、高血圧の原因となり、胃炎から胃ガンを誘発し、脚気になりやすい。

「近代農業」1960、2月号から

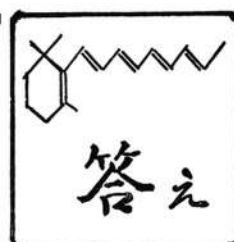
こ
存
じ
で
す
か



最近、牛乳の飲用が盛んになり、牛乳さえ飲んでおればビタミン補給の必要がないと考えられるむき強い。

日本人の食生活で一番不足しているのがビタミンAであると聞いているが、牛乳を飲むことによって完全に補給されるでしょうか。

（千葉県 相葉、大曲市 村上）



牛乳に含まれる栄養素は、蛋白質、脂肪、炭水化物、灰分（カルシウム、磷、鉄）並びにビタミン類である。牛乳は栄養価の高い優れた食品であって、これを摂取することは望ましいことであるが、本邦での消費量は諸外国に比して少ないので特にその飲用がすすめられている。

しかし、天然の食品で、その一つで栄養的に満点のものはなく、牛乳の場合も例外ではない。特にビタミンAについては、牛乳を飲むことで必要量を満たすことは困難である。

牛乳の栄養価で特に高く評価されるのは、良質の蛋白質、脂肪並びにカルシウム、ビタミンB₂含量の多いことである。

脱脂粉乳についてもほぼ同じことがいえるが、文字通り脂肪が除かれているので、脂溶性であるビタミンAは生乳に比して1/6に減少する。食品成分表によれば、牛乳100g中に含まれるビタミンAは、新鮮な生乳で120 I.U. 市乳（瓶装1合、180g）で100 I.U. 脱脂乳ではほとんどない。同じく粉乳

100g中に含まれるビタミンAは、全脂粉乳で700 I.U. 脱脂粉乳で20 I.U.となっている。

従ってビタミンA 3000 I.U. を牛乳で摂取するには3000g（1.6升）に近い量を必要とするわけである。

以上のことから学校において牛乳類を給食に使用されることは結構であるが、そのためにビタミンAの補給の必要性がないとするのは妥当でない。ただ、にんじん、ほうれん草等の緑黄野菜でビタミンAの補給を計る場合は、それが含むカロチンをビタミンA源としているが、そのカロチンの吸収利用率は低い。これに比べて牛乳の場合は、ビタミンAとして含まれているのでその吸収利用率は100%に近い。

しかし、学校において牛乳摂取があっても、現在の消費量からみて、ビタミンAは当然他から補給しなければ必要量を満たし得ないと考えられる。

（清水）

牛乳100g中の含有量

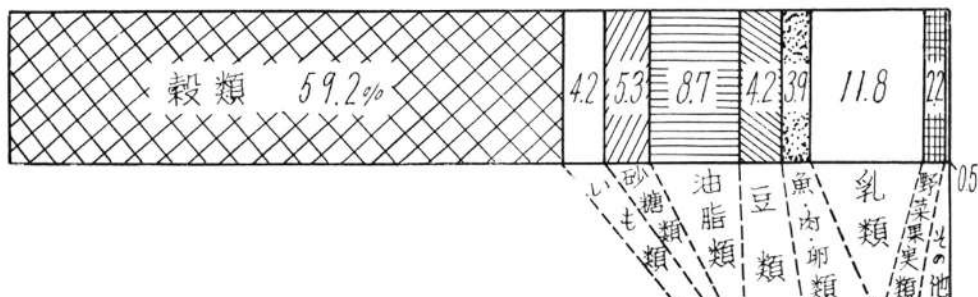
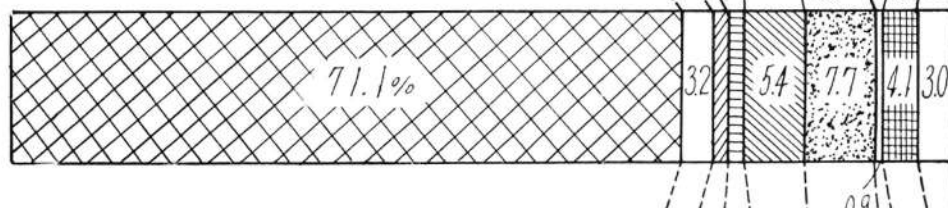
食品標準成分表（日本栄養士会編）

	水 (g)	蛋白質 (g)	脂 質 (g)	炭水化 物 (g)	灰 分 (g)	カルシ ウム (mg)	磷 (mg)	鉄 (mg)	ビタミ ンA (I.U.)	ビタミ ンB ₁ (mg)	ビタミ ンB ₂ (mg)	ナイア シン (mg)	ビタミ ンC (mg)	備 考
牛乳(生乳)	88.6	3.0	3.2	4.5	0.7	100	90	0.1	120	0.04	0.15	0.2	2.0	新鮮
〃(市乳)	88.6	3.0	3.2	4.5	0.7	100	90	0.1	100	0.03	0.15	0.1	0.5	瓶装1合180g
脱脂乳	91.4	3.1	0.1	4.7	0.7	100	90	0.1	0	0.04	0.15	0.1	2.0	新鮮
粉乳(全脂)	2.5	25.9	26.5	39.1	6.0	890	730	1.0	700	0.25	1.30	1.0	5.0	
〃(脱脂)	4.2	34.8	1.0	52.2	7.3	1,200	980	1.0	20	0.30	1.60	1.1	5.0	

「学校給食」と「国民栄養調査」および「日本人の食糧構成」

(昭和37年度の目標値) との食品分類別熱量比率の比較

(昭和35年2月 文部省体育局発表による)

学校給食
(昭和33年度A型)国民栄養調査
(昭和33年度)日本人の食糧構成
(昭和37年度の目標値、昭和34年7月24日栄養審議会答申)

〔注〕 学校給食の食べ物は、一般家庭の食事に比べて穀類（小麦粉）の摂取比率が低く、乳類（主として乾燥脱脂ミルク）と油脂類の摂取比率が高い。しかし、魚肉類や野菜類の摂取比率は、むしろ家庭の方が高い。



カワイ

カワイ肝油ドロップが発明されて、今年がちょうど50年、ますます声価があがるカワイのビタミンA・D剤

カワイ肝油ドロップ
給食強化剤アドリッチ
甘味アドベリン
カワイカルシウム錠

カワイ総合肝油ドロップ
アドベリン錠
ビタミンA・D散
新カワイ駆虫錠

その他ビタミンA・D製品各種

製造発売元 河合製薬株式会社

東京都中野区野方町2丁目 1171 番地
電話 中野 (381) 0443~5番